

名古屋大学農学部生物環境科学科の皆さんが多治見砂防管内を現地見学しました

名古屋大学農学部生物環境科学科の皆さんが、11月4日(金)に土岐川流域(参加者28名)を、11日(金)に木曾川流域(参加者25名)を実際の砂防事業の実施状況について現地見学しました。



虎溪山にて等高線壕工法について解説しました
こけいざん とうこうせんこうこうほう



砂防施設とそれを利用した陶史の森・雲五川せせらぎ公園を見学しました
うんごがわ



桃介橋
(南木曾町)



四ツ目川遊砂工のパネルで四ツ目川水害や対策について解説しました



参加した皆さんからの質問

土岐川流域：緑化工法「等高線壕工法」について（壕の間隔、材料など）

木曾川流域：四ツ目川遊砂工について（砂防堰堤との違いや四ツ目川水害など）

多治見砂防国道事務所では、今後も分かりやすく砂防事業についてお伝えします。

近傍の天白公園周辺に昭和28年伊勢小屋沢で発生した土石流災害の碑が残されています